

4月入学式臨時号

吾孺二中 ニュースレター

A to Z

墨田区立吾孺第二中学校

令和8年4月14日

「自律」から始まる中学校生活

校長 佐藤 順一

新入生の皆さんは、本日より吾孺第二中学校の一員として、中学校生活をスタートさせました。これから始まる三年間は、学力だけでなく、人として、そして社会の一員として成長していく、大切な時間です。本校では、今年度の学校経営の柱として、「つながる力」「見つめる力」「乗り越える力」「見通す力」この四つの力を育てることを大切にしています。これからの中学校生活では、友達とつながる力、自分を知る力、簡単にはあきらめない力、そして、自分の将来を考える力が、とても大切になります。ただし、こうした力は、急に身に付くものではありません。その土台として、今日は、その一番はじめの「自律」について、話をします。自律とは、むずかしいことではありません。「生活を整え、自分の気持ちや行動をコントロールようにすること」です。自分をコントロールする際に、皆さんにまず大切にしてほしいことは、四つあります。

①あいさつをすること。②時間を守ること。③身だしなみを整えること。④言葉遣いを大切にすること。

まず、「あいさつ」です。あいさつは、「あなたを大切に思っています」という合図です。人間関係の基本です。自分からあいさつができると、教室の空気が明るくなります。友達や先生との関係も、自然とよくなっていきます。ポイントは強制されたあいさつではなく自然であること、あいさつはされるものではなく自分からするものととらえることです。

次に、「時間を守ること」です。チャイムを守る、約束時間に間に合う。これは、自分だけでなく、周りの人を大切にする行動です。時間を守る人は、信頼される人になります。ポイントは決められた時間より余裕もって行動することです。

三つ目は、「身だしなみ」です。服装や身なりを整えると、気持ちも自然と整います。気持ちが整うと、授業に集中しやすくなります。ポイントは気持ちが乱れている時こそ「みだしなみ」を整えることで気持ちが落ち着いてきます。

そして、最後は「言葉遣い」です。中学生になると、先生や地域の方など、これまで以上に多くの大人と関わりながら学校生活を送ることになります。また3年後中学校を卒業し、義務教育が終わると立派な社会の一員となります。言葉遣いは、相手との関係をつくる大切なものです。ポイントは中学生の今から言葉遣いを意識することは、これから先、社会の中で人とつながり、人から愛されることにもつながっていきます。

吾孺第二中学校の2年生、3年生は、この「自律」がしっかりと身に付いています。だからこそ、授業では落ち着いて学び、行事では仲間と協力しながら主体的に取り組み、学習面でも学校生活の中でも、さまざまな成果を上げてくれています。また、学年末に実施したそれぞれの学年でのレクリエーションでは、自分たちの力で話し合い、工夫しながら行事を成功させてくれました。自律から自主、自治へとつながった瞬間です。在校生の姿が、本校の学校生活の質を支えているのです。

その結果、吾孺第二中学校は、生徒からも、保護者の皆様からも、「安心して通うことができる学校」として、大いに評価していただきました。新入生の皆さんにも、ぜひ先輩たちの姿を目標にしてください。 (4/9 入学式式辞より)